

令和5年度 徳島市防災会議 開催結果について

1 日時

令和6年2月14日（水）14:00～15:20

2 場所

徳島市役所 13階 大会議室

3 出席者

49人

- ・ 会長 1人（市長）
- ・ 委員 42人（委員48人中、欠席者6人）
- ・ 事務局 6人

4 会議内容

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事（徳島市地域防災計画 令和6年修正（案）について）

資料1「徳島市地域防災計画 令和6年修正（案）について」に基づき、事務局から説明。その後、委員に諮り、原案のとおり承認を得た。【質疑なし】

(4) 意見交換（能登半島地震をうけての課題の共有）

徳島県危機管理環境部とくしまゼロ作戦課 加藤副課長より、能登半島地震の被災地の被害状況や徳島県の支援状況の紹介の後、令和6年1月31日開催の第2回徳島県危機管理総合調整会議において、能登半島地震の教訓を踏まえ、「道路啓開」、「停電」、「断水」、「通信途絶」の各ワーキンググループを設置し、「強靱化」と「レジリエンス（回復力）」の観点から、南海トラフ地震対策の抜本的な検証を行い、県を挙げて対策を進めていくと説明があり、関係各機関への協力要請があった。

また、各委員から次のとおり意見・感想があった。

○南海トラフ地震では災害関連死をいかに減らしていくかが重要であるが、同時に徳島市として、二次避難の受け入れ先としての取り組みを検討してほしい。

○被災地でデマの拡散が多くみられたことを受け、大規模災害時には公共性の高い情報を正確に発信していくことが重要であり、徳島市と協力して速やかな臨時災害放送局の開設に向けた取り組みを進めたい。

○発災時には迅速な進出経路・活動拠点の確保を行い、いち早く被災地に到達して一人でも多くの被災者の命を救えるよう取り組みたい。

○能登半島地震が元日に発生したことを踏まえ、徳島市でも阿波おどり開催期間中に南海トラフ地震が発生したらという想定で防災対策に取り組んでほしい。

○大規模災害時に限られた時間・人員を有効活用するためには情報共有が重要なため、徳島市をはじめとした関係機関と顔の見える関係性を築いていきたい。

○大規模災害時には迅速な道路啓開・道路復旧が求められるため、道路管理者間の連携を密に防災対策に取り組みたい。

(5) 報告（徳島市における防災対応への取組について）

資料2「徳島市における防災対応への取組について」に基づき、「1 情報収集体制の強化」、「2 災害対応機能の強化」、「3 災害対応力の強化」について報告を行った。【質疑なし】

(6) 閉会

5 開催状況

